

F-8001

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

Applicant : Hisao OKANIWA
Serial No. : 10/689,354
Filed : October 20, 2003
For : HAIR BRUSH AND REPLACEABLE CUTTING
UNIT FOR HAIR BRUSH
Group Art Unit : UNKNOWN
Examiner : UNKNOWN

Certificate of Mailing Under 37 CFR 1.8

I hereby certify that this correspondence is being deposited with the United States Postal Service as first class mail in an envelope addressed to Commissioner for Patents, P.O. Box 1450, Alexandria, VA 22313-1450 on November 17, 2003.

Frank J. Jordan
(Name)

 11/17/03
(Signature and Date)

Commissioner for Patents
P.O. Box 1450
Alexandria, VA 22313-1450

LETTER FORWARDING CERTIFIED PRIORITY DOCUMENT

Sir:

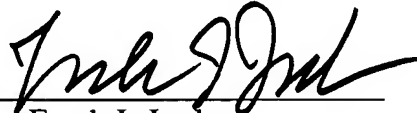
The above-identified application was filed claiming a right of priority based on applicant's corresponding foreign application as follows:

<u>Country</u>	<u>No.</u>	<u>Filing Date</u>
Japan	2002-311807	October 25, 2002

A certified copy of said document is annexed hereto and it is respectfully requested that this document be filed in respect to the claim of priority. The priority of the above-identified patent application is claimed under 35 U.S.C. § 119.

Respectfully submitted,

Jordan and Hamburg LLP

By 
Frank J. Jordan
Reg. No. 20,456
Attorney for Applicants

Jordan and Hamburg LLP
122 East 42nd Street
New York, New York 10168
(212) 986-2340

FJJ/cj
Enclosure: Certified Priority Document

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

Jordan and Hamburg WP
F-8001

10/689,354

Hisao OKANIWA
Hair Brush and Replace-
able Cutting...
(212) 986-2340

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されて
いる事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed
with this Office.

出 願 年 月 日 2 0 0 2 年 1 0 月 2 5 日
Date of Application:

出 願 番 号 特 願 2 0 0 2 - 3 1 1 8 0 7
Application Number:
[ST. 10/C]: [J P 2 0 0 2 - 3 1 1 8 0 7]

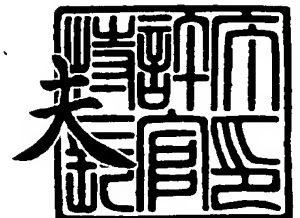
出 願 人 有限会社ジャパンランカトレーディング
Applicant(s):

出
願
番
号
10/689,354

2 0 0 3 年 1 0 月 3 日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

今 井 康 夫



出証番号 出証特 2 0 0 3 - 3 0 8 1 7 2 1

【書類名】 特許願

【整理番号】 P-02-046

【提出日】 平成14年10月25日

【あて先】 特許庁長官 太田 信一郎 様

【発明者】

【住所又は居所】 長野県下伊那郡阿智村大字駒場 5 9 3 番地 有限会社ジ
ャパンランカトレーディング内

【氏名】 岡庭 久雄

【特許出願人】

【識別番号】 302056491

【住所又は居所】 長野県下伊那郡阿智村大字駒場 5 9 3 番地

【氏名又は名称】 有限会社ジャパンランカトレーディング

【代理人】

【識別番号】 100067644

【住所又は居所】 東京都千代田区麴町 4 - 1 西脇ビル

【弁理士】

【氏名又は名称】 竹内 裕

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 054210

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 0214094

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書
【発明の名称】 毛髪梳き用ブラシ
【特許請求の範囲】

【請求項 1】 複数のブリッスルを植設したブラシ台の中央部に台の長手方向に沿って少なくとも一つの梳き刃を取付け、該梳き刃はブリッスルの長手方向にブリッスルとほぼ同じ長さを有してほぼ平行に延びており、梳き刃の刃先に隣接して配置されたブリッスルと梳き刃との間に毛を狭入して切断するようにしたことを特徴とする毛髪梳き用ブラシ。

【請求項 2】 梳き刃は、ブラシ台の長手方向に対して角度を有して配置されていることを特徴とする請求項 1 記載のブラシ。

【請求項 3】 梳き刃の取付け角度が、台の中心線に対して 10 度から 80 度の範囲、最も好ましくは 60 度であることを特徴とする請求項 2 記載のブラシ。

【請求項 4】 梳き刃が、ブラシ台に対してその取付け角度を調整自在にして取付けられていることを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれかに記載のブラシ。

【請求項 5】 複数の梳き刃を、間隔を置いて配置したことを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれかに記載のブラシ。

【請求項 6】 梳き刃の間隔が、5 ～ 10 mm の間隔であることを特徴とする請求項 5 記載のブラシ。

【請求項 7】 梳き刃をブラシ台に、固定的に取付けたことを特徴とする請求項 1 乃至 6 のいずれかに記載のブラシ。

【請求項 8】 梳き刃をブラシ台に、着脱自在に取付けたことを特徴とする請求項 1 乃至 6 のいずれかに記載のブラシ。

【請求項 9】 梳き刃は、両刃又は片刃のいずれかであることを特徴とする請求項 1 乃至 8 のいずれかに記載のブラシ。

【請求項 10】 梳き刃の上端をガード部で被覆され皮膚への危険を防止するようにしたことを特徴とする請求項 1 乃至 9 のいずれかに記載のブラシ。

【請求項 11】 梳き刃は、一枚刃、二枚刃若しくは三枚刃のいずれかであることを特徴とする請求項 1 乃至 10 のいずれかに記載のブラシ。

【請求項 12】 梳き刃とブリッスルとが、下端から上端までほぼ同じ間隔で平

行に配置されていることを特徴とする請求項 1 乃至 10 のいずれかに記載のブラシ。

【請求項 13】 梳き刃とブリッスルとが、上端に行くにしたがって間隔が広がるように傾斜して配置されていることを特徴とする請求項 1 乃至 11 のいずれかに記載のブラシ。

【請求項 14】 梳き刃の刃先に隣接して植立されたブリッスルが、断面円弧状で且つ上方に向って漸次細くなるように形成されていることを特徴とする請求項 1 乃至 13 のいずれかに記載のブラシ。

【請求項 15】 梳き刃を取付けるブラシ台の一部をブラシ台から取り外し自在に構成し、該取外し自在な台に梳き刃を取付けるとともに刃先に隣接して少なくとも一本のブリッスルを植設し、梳き刃に直接指先が接触しないようにしたことを特徴とする請求項 1 乃至 14 のいずれかに記載のブラシ。

【請求項 16】 ブラシ台が平坦な板状、棒状若しくは櫛状の平型のブラシ台のいずれかであることを特徴とする請求項 1 乃至 15 のいずれかに記載のブラシ。

【請求項 17】 ブラシ台の長手方向に対して、把手を直角方向に取付けたことを特徴とする請求項 1 乃至 16 のいずれかに記載のブラシ。

【請求項 18】 把手をブラシ台に回動自在に取付けて、把手をブラシ台の長手方向両端部のいずれかの位置に選択的に位置付け得るようにしたことを特徴とする請求項 1 乃至 17 のいずれかに記載のブラシ。

【請求項 19】 梳き刃の刃先が、弧状に形成されていることを特徴とする請求項 1 乃至 18 のいずれかに記載のブラシ。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する分野】

この発明は、毛髪をカミソリ刃で部分的に切断して毛量を適度に調整するためのいわゆる毛髪梳き用ブラシに関する。

【0002】

【従来の技術】

従来、毛髪を部分的に切断して毛髪のを適度に調整しつつ、調髪を行うよう

にすることは公知である。かかる毛髪を部分的に切断して毛髪の量を適度に調整する、いわゆる毛髪梳きは、一般的には梳き鋏又はレザーによりカットしているが、櫛にカミソリ刃を取付けて髪を櫛で梳かす際にカミソリ刃で毛髪を部分的に切除し、所望の毛量に梳くようにしたものも提案されている。このようなカミソリ刃を備えた櫛は、例えば特開平11-90060号公報、実開平5-88479号公報等の開示されている。特開平11-90060号公報の開示されたレザーホルダーは、カミソリ刃に非切断部となるガードを取付けて刃の一部を被覆し、毛髪の一部を刃で切断して毛量を減少させるようにしたものである。又、実開平5-88479号公報の開示された梳き鋏の作用をもつ櫛形ヘアカットレザーは、櫛歯の根元部に切断部と非切断部を交互に設けたカミソリ刃を着脱自在に取付け、櫛で毛髪を梳りつつカミソリ刃で部分的に切断して、毛髪の量を調整するようにしたものである。

【0003】

しかしながら、これらのレザーカットによる髪梳きでは、毛髪の表面に位置する毛は梳くことが出来るが、毛髪の内部の毛を梳くことは出来ず、毛髪の量の調整を十分に行うことが出来なかった。従来、毛髪の内部の毛を梳くには、理髪店、理容店で梳き鋏若しくはレザーによるカット以外になく、個人が自分で毛髪の内部まで梳いて毛髪全体を所望の毛量に調整することは困難であった。

【0004】

【特許文献1】

特開平11-90060号公報

【特許文献2】

実開平5-88479号公報

【0005】

【発明が解決しようとする課題】

この発明は、毛髪の内部に位置する毛をも梳くことが出来るようにした梳き刃を備えるブラシを提供せんとするものである。

【0006】

【課題を解決するための手段】

上記課題を解決するためにこの発明が採った手段は、複数のブリッスルを植設したブラシ台の中央部に台の長手方向に沿って少なくとも一つの梳き刃を取付け、該梳き刃はブリッスルの長手方向にブリッスルとほぼ同じ長さを有してほぼ平行に延びており、梳き刃の刃先に隣接して配置されたブリッスルと梳き刃との間に毛を狭入して切断するようにしたことを特徴とする。

【0007】

梳き刃は、ブラシ台の長手方向に対して角度を有して配置されており、梳き刃の取付け角度が、台の中心線に対して10度から80度の範囲、最も好ましくは角度は60度であることを特徴とする。更に、梳き刃が、ブラシ台に対してその取付け角度を調整自在にして取付けられていることを特徴とする。

【0008】複数の梳き刃を、間隔を置いて配置し、梳き刃の間隔が、5～10mmの間隔であることを特徴とする。

【0009】

梳き刃をブラシ台に、固定的若しくは着脱自在に取付けたことを特徴とし、梳き刃を取付けたブラシ台の一部をブラシ台から取り外し自在に構成し、該取外し自在な台の一部に梳き刃を取付けるとともに刃先に隣接して少なくとも一本のブリッスルを植設し、梳き刃に直接指先が接触しないようにしたことを特徴とする。

【0010】

梳き刃は、両刃又は片刃のいずれかであり、又一枚刃、二枚刃若しくは三枚刃のいずれかであることを特徴とし、梳き刃の上端をガード部で被覆され皮膚への危険を防止するようにしたことを特徴とする。又、梳き刃の刃先が、弧状に形成されていることを特徴とする。

【0011】

梳き刃とブリッスルとが、下端から上端まではほぼ同じ間隔で平行若しくは上端に行くにしたがって間隔が広がるように傾斜して配置されていることを特徴とする。更に、梳き刃の刃先に隣接して植立されたブリッスルが、断面円弧状で且つ上方に向って漸次細くなるように形成されていることを特徴とする。

【0012】

ブラシ台が平坦な板状、棒状若しくは櫛状の平型のブラシ台のいずれかであることを特徴とする。

【0013】

ブラシ台の長手方向に対して、把手を直角方向に取付けたことを特徴とし、又、把手をブラシ台に回動自在に取付けて、把手をブラシ台の長手方向両端部のいずれかの位置に選択的に位置付け得るようにしたことを特徴とする。

【0014】

【発明の実施の形態】

この発明の好ましい実施の形態を、以下に詳細に説明する。複数のブリッスルを植設したブラシ台の中央部に台の長手方向に沿って少なくとも一つの梳き刃を取付け、該梳き刃はブリッスルの長手方向にはほぼブリッスルと同じ長さを有して延びており、梳き刃とブリッスルとの間に毛を狭入して切断するようにしたこと特徴とする。梳き刃は、好ましくはブラシ台の長手方向に対して角度を有して平行に配置されており、その角度は台の中心線に対して10度から80度の範囲が好ましく、最も好ましい角度は60度である。取付け角度が10度より小さいか80度より大きいと毛の切断が極めて困難となる。取付け角度が10度において毛の切断効率は最も小さく、60度において最も大きく、80度では両角度の中間程度の切断効率となる。ブラシ台の長さに応じて取付ける梳き刃の数は異なるが、約5～10mm程度の間隔を置いて複数配置するのが好ましいが、これに限られるものではない。一例として、ブリッスルの植毛部分の長さが約70mmのブラシ台の場合、5mm程度の間隔を置いて5本の梳き刃をブラシ台の中心線に沿って一列に配置した。ブラシ台への梳き刃の取付けは、固定的であっても、着脱自在であっても良い。ブリッスルは、梳き刃の刃先に隣接して配置され、ブリッスルと梳き刃との間に狭入する毛が刃で切断される。尚、このブリッスルは棒状のものと断面円弧状のものがある。従って、ブリッスルと梳き刃との間に入らない毛が切断されるおそれはなく、かくして毛髪は部分的に切断されるとともに、梳き刃の長さだけ毛髪の内部に入り込み、毛髪の表面のみならず内部の毛も同時に切断される。

【0015】

梳き刃は、ブリッスルとほぼ同じ高さを有してほぼ垂直に直立して取付けられる。梳き刃は、両刃であっても、片刃であっても良い。梳き刃の上端はガード部で被覆され皮膚への危険を防止する。梳き刃は、一枚刃、二枚刃若しくは三枚刃或いはその他のいずれの枚数であっても良い。梳き刃とブリッスルとは、下端から上端までほぼ同じ間隔で平行に配置しても、上端に行くにしたがって間隔が広がるように傾斜して配置しても良い。梳き刃は、ブラシ台に着脱自在若しくは固定した取付けのいずれでも良いが、着脱自在とする場合、梳き刃のみを着脱するようにしても良い。しかし、梳き刃のみを着脱自在とすると指を切るおそれがあるので、梳き刃を取付けた台の一部を取り外し自在とし、該取外し自在な台に梳き刃の刃先に隣接して少なくとも一本のブリッスルを植設し、梳き刃に直接指先が接触しないようにするのが好ましい。尚、梳き刃は、ブラシ台に一直線上に配置しても、或いは複数並列して配置しても良い。ブラシは、ブラシ台が平坦な板状のもの限られない。棒状のブラシ台であっても、或いは櫛状の平型のブラシ台であっても良い。ブリッスルは、ブラシ台に複数並列して植設しても、或いは櫛歯状に一行に植設したものであっても良い。

【0016】

【実施例】

図面を参照しつつこの発明の好ましい実施例を説明する。図1は、この発明を板状のブラシ台(2)を有するブラシ(1)に適用した例を示し、ブラシ台(1)には複数のブリッスル(3)が植設され、該ブリッスル(3)の間に位置してブラシ台の中央部に複数の梳き刃(4)が台の長手方向に一行に間隔をおいて配置される。ブラシ台(1)に配置される梳き刃(4)は、図示の実施例では台に固定された状態にあるが、着脱自在な構造としても良いことは勿論である。梳き刃が固定されている場合、刃先の切れ味が落ちると使い捨てとなるので、ブラシは安価に構成する。ブラシ台(1)に取付けられる梳き刃(4)は、図2に示すようにブラシ台の中心線(A)に対して約60度の角度をつけて配置される。梳き刃(4)の取付け角度は、60度の限定されるものではなく、10～80度の範囲において任意の角度とする。梳き刃の間隔は、5mmとした。梳き刃の取付け間隔が広くなると毛を梳く量が減少し、間隔を狭くすると梳く量が増大する。

【0017】

図3, 4は、ブリッスルの一変形を示す。通常ブリッスル(3)は、棒状に形成されているが、図3, 4に示すように梳き刃(4)の刃先に隣接するブリッスル(3)を断面円弧状に形成すると共に、上方に向って漸次細くなるように形成する。これにより、梳き刃とブリッスルとの間に入って毛髪は、ブリッスルの円弧に倣って回転しながら下方に押し込まれるのでより確実に且つスムーズな毛髪の切断が可能となり、毛髪を梳く動作を円滑に行うことが出来る。梳き刃の刃の枚数は、図5に示すように1枚刃、二枚刃、三枚刃のいずれであっても良い。刃先は、図示のように両刃が好ましいが、片刃であっても良いことは勿論である。図6は、ブラシで毛髪をブラッシングするとき、毛の来る方向に対する梳き刃の角度を表しており、前記した梳き刃の取付け角度を60度とすることは、図6に示すように毛の来る方向(θ)に対して刃先の角度を60度とすることを意味している。

【0018】

図7～10は、ブリッスル(3)と梳き刃(4)の関係を示す図であり、図7, 8は梳き刃が片刃の場合であり、ブリッスル(3)は梳き刃(4)の片方に形成された刃先に隣接して位置されており、図9, 10は梳き刃が両刃の場合を示し、ブリッスル(3)は、梳き刃(4)の両方の刃先に隣接して位置づけられている。直立したブリッスル(3)に対し、梳き刃(4)を図7, 9に示すように傾斜させて取付けても、図8, 10に示すように平行に取付けでも良い。ブリッスル(3)は、梳き刃(4)の刃先に隣接して配置され、ブリッスル(3)と梳き刃(4)との間に狭入する毛が刃で切断される。従って、ブリッスル(3)と梳き刃(4)との間に入らない毛が切断されるおそれはなく、かくして毛髪は部分的に切断されるとともに、梳き刃の長さだけ毛髪の内部に入り込み、毛髪の表面のみならず内部の毛も同時に切断される。ブリッスル(3)と梳き刃(4)の傾斜角度は、5～8度程度が好ましいが、限定されない。尚、ブリッスル(3)は、ブラシの構造上傾斜していることもある。図示の実施例では、傾斜角を5度とした。梳き刃は、ブリッスル(3)に対して揺動自在として、平行な状態から傾斜した取付状態に変更するようにしても良い。又、バイブレータ等で振動を付与して刃の切れ味を良くすることも出来

る。更に、毛のカット時に電動或いは手動で刃を横に移動させてブリッスルとの間隔を変更し、狭入される毛の量を変えてカットする毛量を調節するようにしても良い。

【0019】

図11は、ブラシ台に着脱自在な構造の梳き刃を示し、刃の先端にはガード部(5)が形成されると共に、梳き刃の根元部には鍔(6)が形成され、更に鍔の下部に把持用ツマミ(7)が設けられる。ブラシ台(2)に形成された挿入孔にブラシ台の背面から梳き刃(4)を鍔(6)が当接するまで装入して取付ける。切れ味が落ちて梳き刃の交換が必要となったときには、ツマミを持ってブラシ台から引き抜いて交換する。図11に示す個別に交換する構造の梳き刃に変わって、図12に示すように梳き刃を取付けたブラシ台の一部を別体の交換台(8)に形成し、該交換台(8)をブラシ台(2)に着脱自在として、交換台とともに梳き刃を交換するようにしても良い。この場合、梳き刃の刃先に隣接してブリッスル(3)を交換台(8)に植設し、刃先に指などが接触するのを防止する。

【0020】

図13、14は、ブラシの他の構造を示す図であり、図13はブラシ台(2)を棒状としたブラシであり、ブリッスル(3)は棒状のブラシ台から放射方向に植立され、中央部に配置される梳き刃(4)とブリッスル(3)とは必然的に傾斜した関係になる。又、図14のブラシは、櫛状の平型ブラシの構造をなし、ブラシ台には一枚の板形状を有し、ブリッスル(3)が櫛歯状に列設され、ブリッスル(3)の間に梳き刃(4)が配置される。

【0021】

図15は、ブラシ台(2)の略中央部に把手(10)をアーム(11)を介して回動自在に取付け、把手(10)をブラシ台の長手方向の両端部のいずれかに選択的に位置づけるようにしたものである。これにより、ブラシで毛髪を梳く際にブラシを左右いずれかの手に持ち替えても、把手の位置を変更することにより支障なく梳くことが出来る。又、図16は、ブラシ台(2)の裏面中央に把手(10)を取付けたものであり、これにより毛髪を梳くときブラシの把持をしっかりと行うことが出来る利点がある。

【 0 0 2 2 】

【発明の効果】

この発明によれば、ブリッスルの長手方向に沿って梳き刃が延びているので、ブラシで髪をとかす動作に伴って毛髪の内部に梳き刃が入り込み、ブリッスルと梳き刃の間に入り込んだ毛が切断され、毛髪を表面のみならず内部まで梳くことが出来、毛髪の量をブラシをかける動作で梳いて任意の毛量に調整することが可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】 この発明を適用したブラシの一例を示す斜視図

【図 2】 梳き刃の取付状態を示す平面図

【図 3】 断面弧状のブリッスルを有するブラシの一変形を示す平面図

【図 4】 同変形のブリッスルと梳き刃を示す斜視図

【図 5】 梳き刃の切れ刃の枚数を示す図

【図 6】 切れ刃と毛の移動する方向を示す図

【図 7】 ブリッスルと片刃の梳き刃との関係を示す図

【図 8】 ブリッスルと片刃の梳き刃との関係を示す図

【図 9】 ブリッスルと両刃の梳き刃との関係を示す図

【図 1 0】 ブリッスルと両刃の梳き刃との関係を示す図

【図 1 1】 上端にガードを備え着脱自在とした梳き刃の一例を示す斜視図

【図 1 2】 梳き刃を取付けた台の一部を取り外し自在としてブラシの例を示す斜視図

【図 1 3】 棒状のブラシ台を有するブラシの斜視図

【図 1 4】 櫛歯状の平型台からなるブラシ台の斜視図

【図 1 5】 把手を回転自在にしたブラシの他の変形を示す斜視図

【図 1 6】 ブラシ台の中央に把手を取付けたブラシの更に他の変形を示す斜視図

【符号の説明】

(1) ブラシ

(2) ブラシ台

(3)ブリッスル

(4)梳き刃

(5)ガード部

(6)鍔

(7)ツマミ

(8)交換台

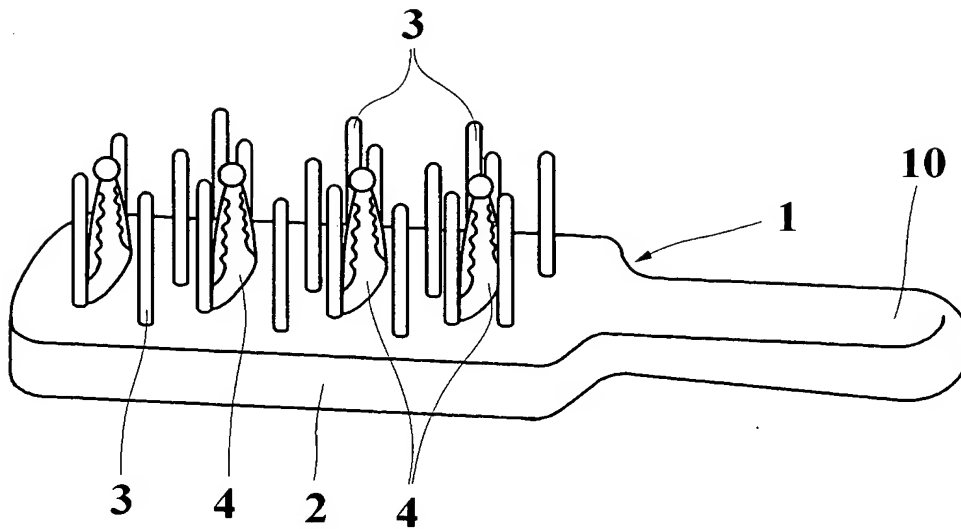
(9)刃先

(10)把手

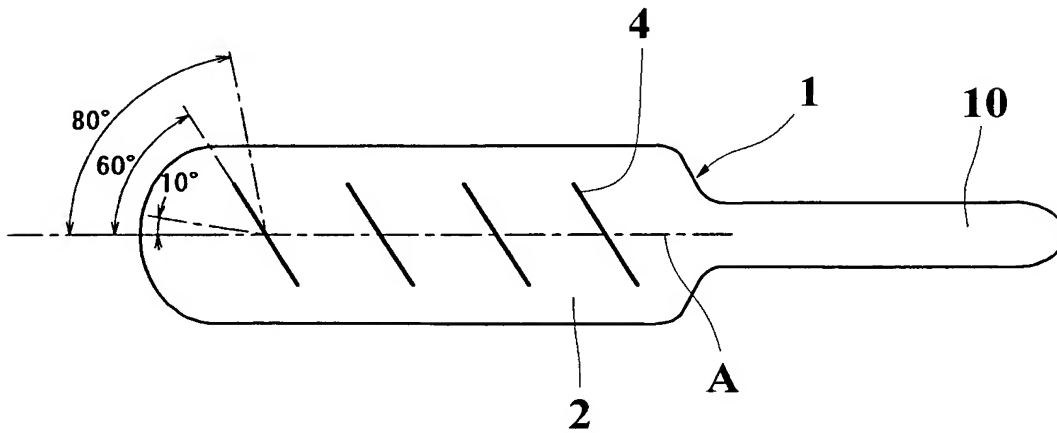
(11)アーム

【書類名】 図面

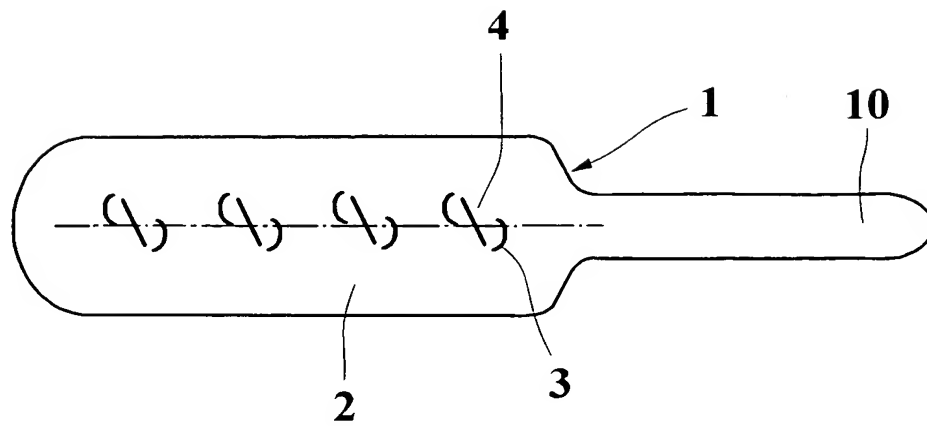
【図 1】



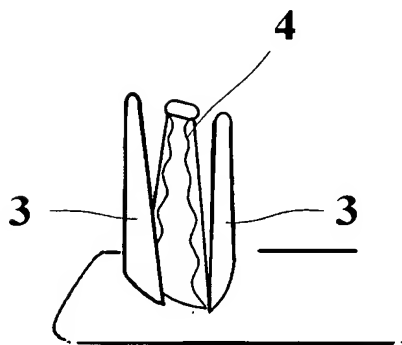
【図 2】



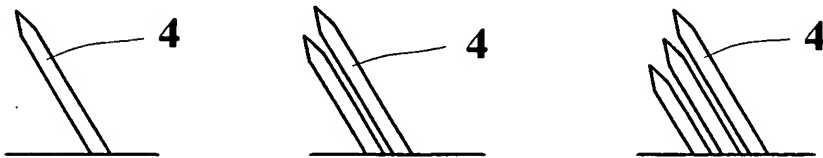
【図 3】



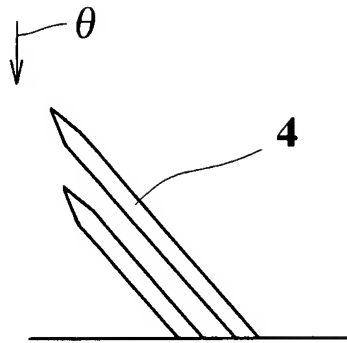
【図 4】



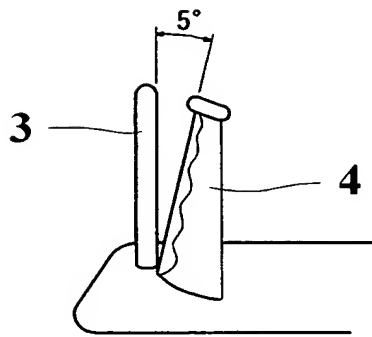
【図 5】



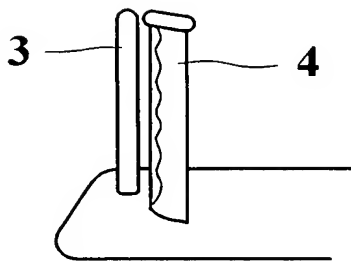
【図 6】



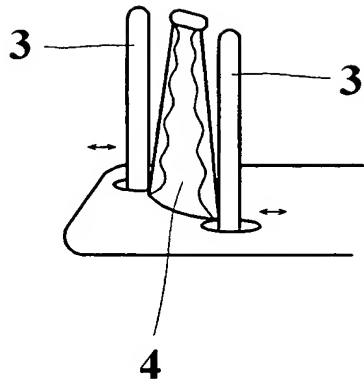
【図 7】



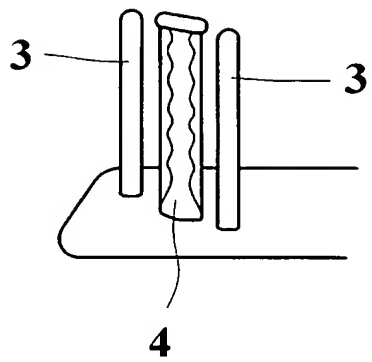
【図 8】



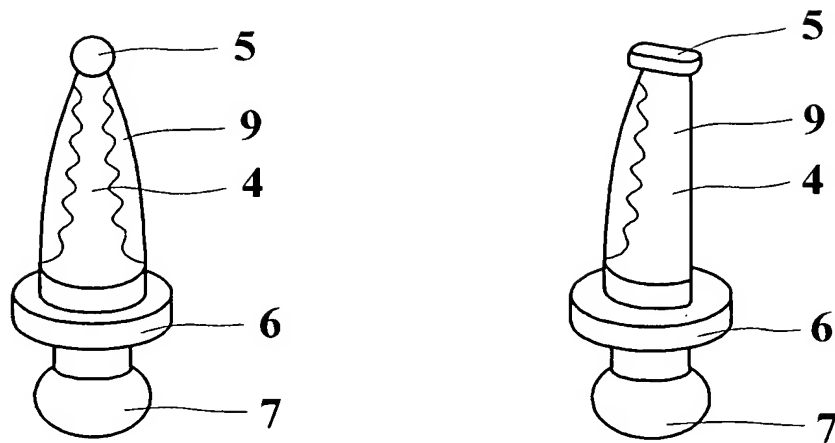
【図 9】



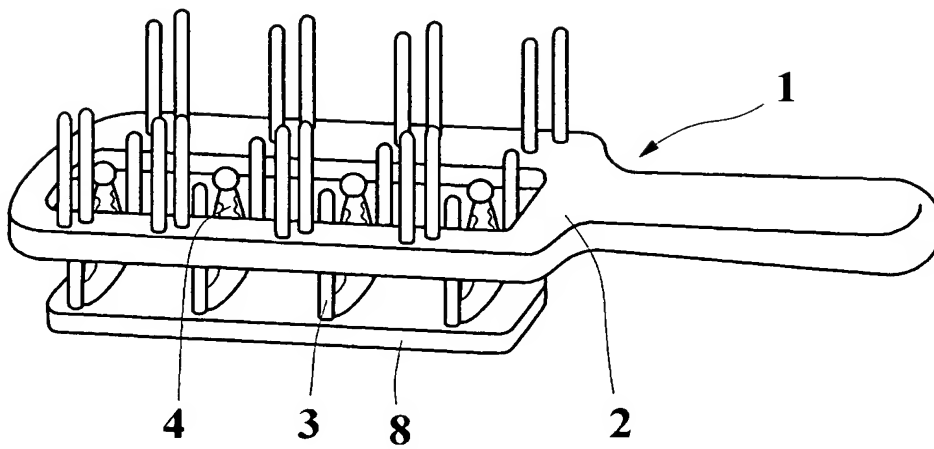
【図 10】



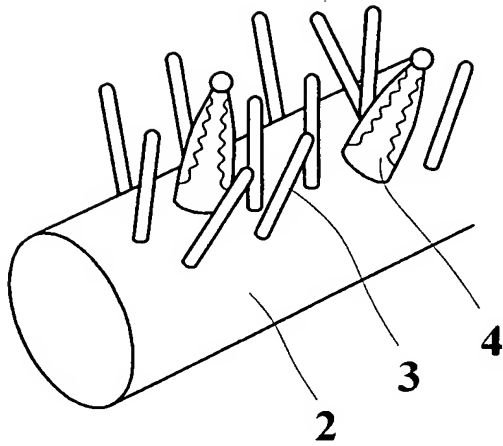
【図 11】



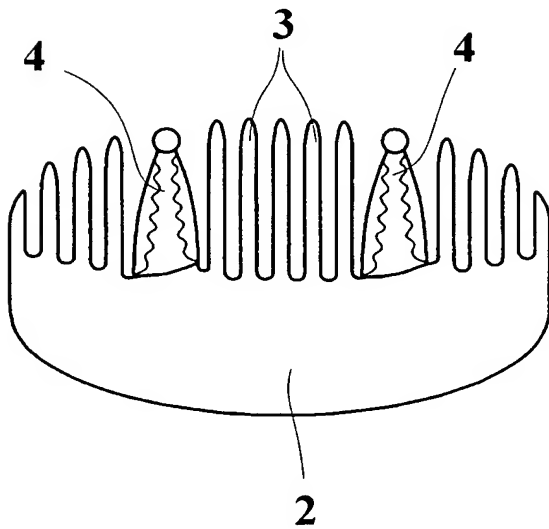
【図 12】



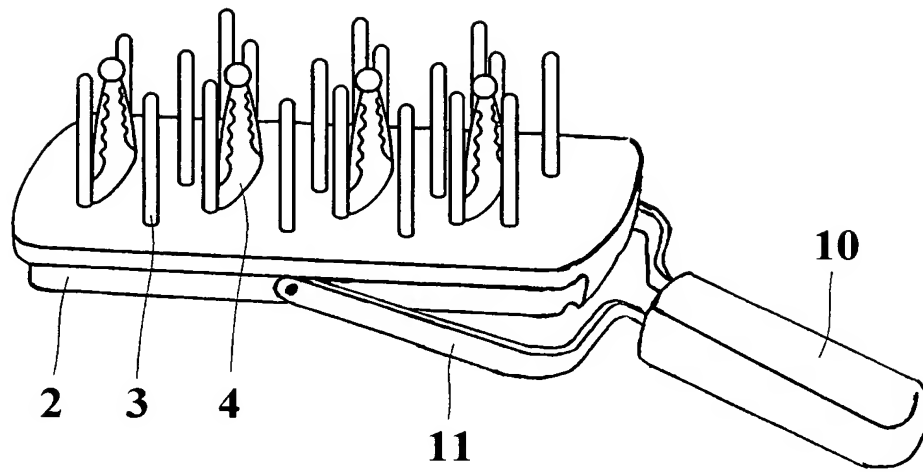
【図 13】



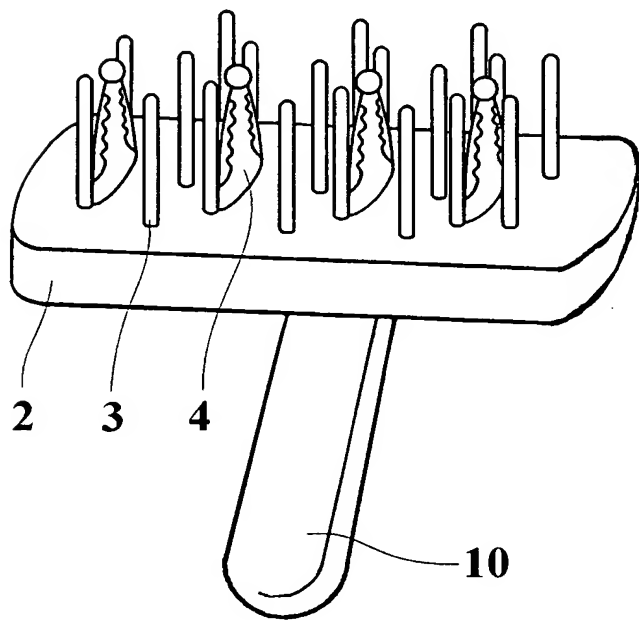
【図 14】



【図 15】



【図 16】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 毛髪の内側に位置する毛をも梳くことが出来るようにした梳き刃を備えるブラシを提供せんとするものである。

【解決手段】 複数のブリッスルを植設したブラシ台の中央部に台の長手方向に沿って少なくとも一つの梳き刃を取付け、該梳き刃はブリッスルの長手方向にブリッスルとほぼ同じ長さを有してほぼ平行に延びており、梳き刃の刃先に隣接して配置されたブリッスルと梳き刃との間に毛を狭入して切断するようにしたことを特徴とする。

【選択図】 図 1

特願 2002-311807

出願人履歴情報

識別番号

[302056491]

1. 変更年月日
[変更理由]

2002年 9月26日
新規登録

住 所
氏 名

長野県下伊那郡阿智村大字駒場593番地
有限会社ジャパンランカトレーディング